

受動喫煙防止のための常識

1. 屋内の喫煙室、空気清浄機、換気ファンは、まったく意味がない。
 2. 屋内を禁煙にすると受動喫煙の病気が減るので、医療費・保険コストが節約できる。
 3. 屋内を禁煙にすると労働生産性が3%向上する。
 4. 屋内を全面禁煙化にすることは無料ででき、すべての問題を解決する。
- (WHO 受動喫煙防止のための政策勧告)

http://www.nosmoke55.jp/data/0706who_shs_matuzaki.html

致死性的受動喫煙症
肺ガン・副鼻腔ガン
心筋梗塞・脳梗塞
気管支喘息・急性肺炎
慢性閉塞性肺疾患
末梢動脈閉塞症
乳幼児突然死症候群

慢性病悪化
メタボリック症候群
狭心症 糖尿病

受動喫煙による体調不良
うつ状態 頭痛 めまい 吐き気 倦怠感
化学物質過敏症 咳・痰・喘鳴 気管支炎
中耳炎 目・鼻・のどの刺激症状

受動喫煙は危険です



みどり：受動喫煙防止法・条例ができています（2009年12月）

職場の受動喫煙防止法は、韓国、中国（北京など数都市）、台湾、香港、タイ、ブルネイ、インド、オーストラリア、ニュージーランドなど世界の多くの国で制定されています。

タバコ煙濃度と健康影響

受動喫煙の程度	タバコ煙濃度 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	10万人あたり 生涯超過死亡数
タバコの臭いがわかる	1	100～600
目・鼻・喉の刺激症状	4	400～2400

タバコの臭いがする！目や鼻が辛い！時は
すでに環境基準の100倍～1000倍の致死的汚染